

Chance Challenge Change

柔軟な発想で試行錯誤し、変化にチャレンジ！

令和3年度
総合的な探究の時間・ぎふグローバル人材育成推進事業
岐阜聖徳学園高等学校
令和4年3月18日 18号

ぎふグローバル人材育成推進事業報告会

3月14日(月) 14:00~15:05に、本年度の事業内容についての報告会を開催しました。この報告会を通して、これまでとこれからの本事業について考えて頂くきっかけになるようにしたいと考えています。

今回は、本事業が始まった当初から来ていただいている「岐阜県世界青年友の会」常務理事 白井千里先生と、岐阜県私学振興・青少年課 遠藤隆弘さんに参加頂きました。

これまでのぎふグローバル人材育成推進事業 (GGH : Gifu Global Highschool)

本事業は2014年度(平成26年度)より7年間にわたり実施してきました。特に「防災」をテーマにして、フィリピンレイテ島のレイテ国立高校との交流や、本校の位置する鶉地区の住民の方々、鶉小学校の児童と教職員の方々、岐阜聖徳学園大学の学生と教職員の方々との交流をしてきました。レイテ国立高校にお邪魔したり、レイテ国立高校の生徒が本校を訪問してくれて、直接会って交流できたことは、お互いにとても良い経験となりました。



今年度のGGH

今年度のGGHは、コロナのため残念ながらオンライン授業中心となりましたが、先ず、木本健太郎さん^{※1}にオンライン授業「探究への取り組み方について」を実施して頂きました。また、沖縄への研修旅行に行くことも叶いませんでしたが、「沖縄の抱える地域の課題に取り組む方々による研修会」をオンラインで実施することができました。さらに、レイテ国立高校の生徒とオンラインで交流することができました。

木本健太郎さんによるオンライン授業「探究への取り組み方について」

●講師：木本健太郎さん^{※1}



東京大学大学院に学ばれ、現在は高校生等に対して「探究への取り組み方」について研修等を行う企業を運営されておられます。

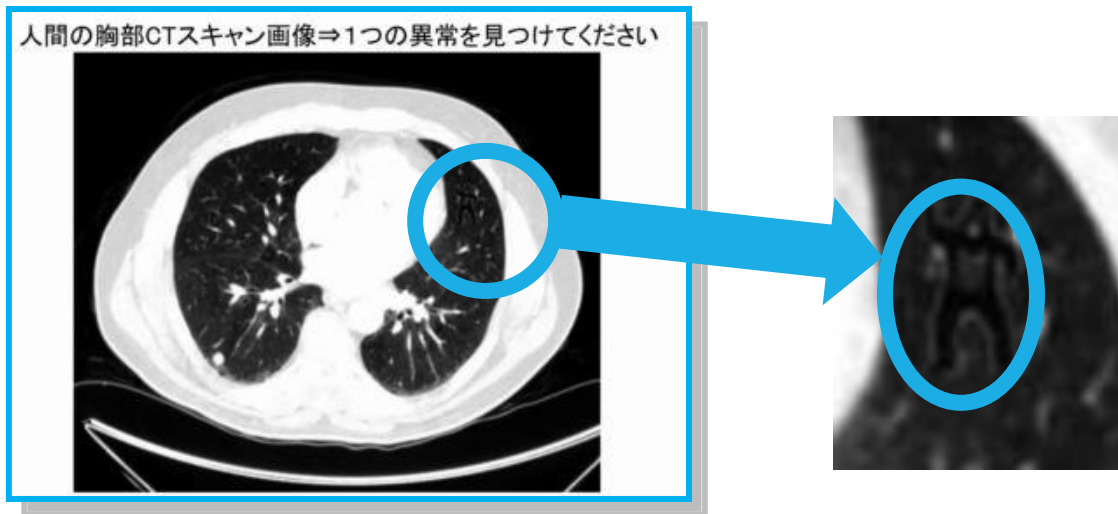


木本健太郎さんによるオンライン授業「探究への取り組み方」では、「探究に取り組むために必要な3つの思考法(アート思考、デザイン思考、ロジカル思考)」の授業をしていただきました。

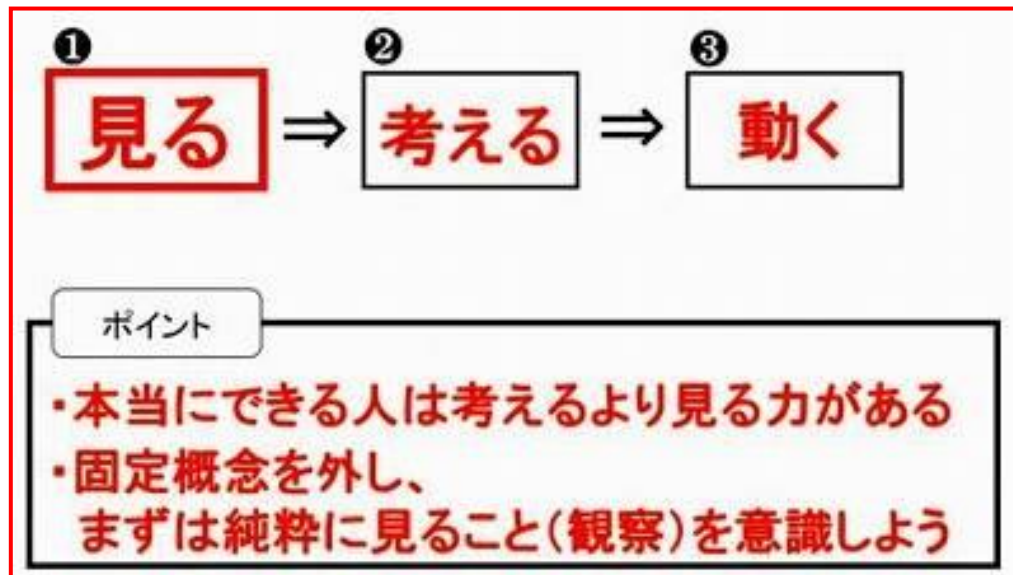
●探究に取り組むために必要な3つの思考法（アート思考、デザイン思考、ロジカル思考）

アート思考

アート思考とは「既成概念に捕らわれずに、問題解決を行うための思考法」のこと。1つの絵でも人によって見え方が違い、人によっては見えているようで見えてないこともあります。まずは固定概念を持たずに純粹に見ること。決めつけをしないこと。ちゃんと見ること。見る力（観察する力）をつけることが成功へと重要な一歩。次の人間の胸部CTスキャン画像の中に、1つの異常を見つけてみてください。固定概念を持たずに純粹に見ることが出来れば、「ゴリラの絵」が見えて来るでしょう。



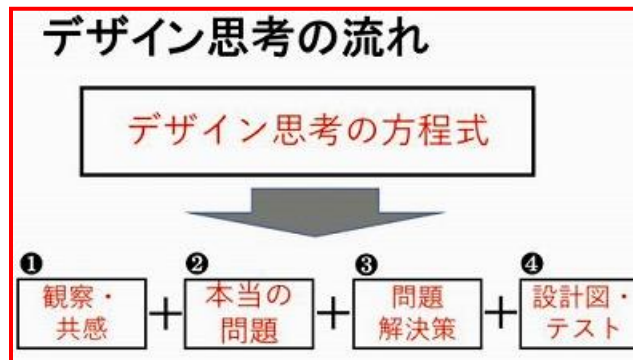
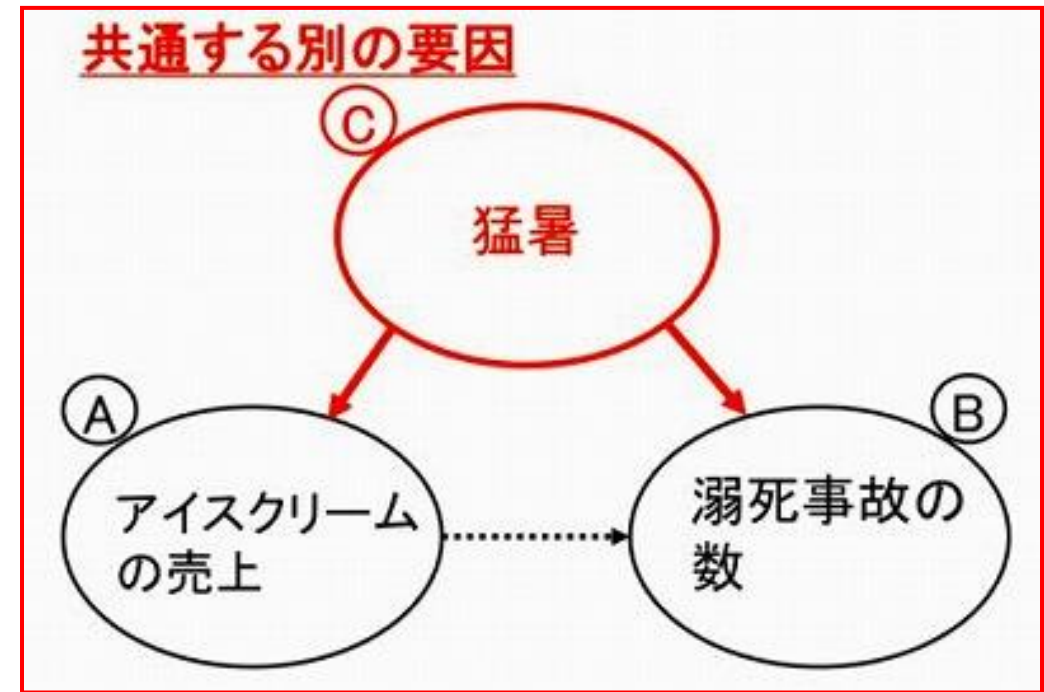
探究に取り組むために、先ず必要なことは、考えて動く前に、固定概念を外し、純粹に見ること（観察）であることを教えていただきました。



デザイン思考

次に、デザイン思考とは「本当の問題を探り当て、解決に至るための思考法」のこと。固定概念を持たずに純粹に見るだけでなく、「本当の問題（原因）」を深く考え抜くことです。

たとえば、次の図における①「アイスの売上」は②「溺死事故の数」の原因ではありません。③「猛暑」が①「アイスの売上」と②「溺死事故の数」の両方の本当の原因になります。このように「本当の問題（原因）」を深く考え抜くことも、探究に取り組むために必要であることを教えていただきました。



ロジカル思考

最後に、**ロジカル思考とは「事実に基づいて、他者に分かりやすく表現するための思考法」**のこと。次の図において、④「提案：結局、何をすべきなのかという結論」を述べるだけでは、他者に分かりやすい表現にはなりません。①「事実：自分の意見の元となる客観的なデータ/事実」を示し、その事実に関して②「問題：何が問題だと考えているか」を指摘し、さらにその問題に関して③「自分：自分はどのような気持ちを持っているのか」を述べて、最後に④「提案：結局、何をすべきなのかという結論」を述べることで、自分の意見を他者に分かりやすく伝えることができることを教えていただきました。



事実 (Fact)	客観的で意見の元となるデータ/事実
問題 (Problem)	何が問題だと考えているか？ 解決すべきポイント
自分 (Values)	意見を言う本人はどう考えているのか？ どのような気持ちを持っているのか？
提案 (Recommendation)	結局、何をすべきなのかという結論・アドバイス



沖縄が抱える地域の課題に取り組む方々による研修会

沖縄が抱える地域の課題に取り組む8名の方々に、SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) の視点から、研修会を実施していただきました。

沖縄でSDGsに取り組む方々との研修会



SDGs目標	講師	内容
1 貧困をなくそう 	(株)おとなワンサード代表取締役 社長 富田 杏理さん 	おきなわ子ども未来ランチサポートは、子ども食堂などを通し、子供が一人でも簡単に食べられる食料品を配る活動をさせていただきます
2 飢餓をゼロに 	OrgaNect オーガネクト代表 島袋 優さん 	沖縄の農業について、農業の課題について考えた時に、継続的に課題解決するためにビジネスをすることにたどり着き、有機農業を通して人と人を繋ぐコミュニティやコンサルティングをさせていただきます。
4 質の高い教育をみんなに 	(株)グレートボヤージュ代表取締役社長 大岩 光昭さん 	自分の将来について考える機会を、沖縄の困窮世帯も含めたすべての子どもと一緒に考える予備校を運営させていただきます。
8 働きがいも経済成長も 	財全 GROUP 久場 まどかさん 	新聞記者を経て、沖縄の困窮世帯の子どもへランドセルや制服を支援するプロジェクトに参加、その後 WEB デザイナーへ転職され、働き方や自分のキャリアの選択についての支援をさせていただきます。

10 人や国の不平等をなくそう 	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科准教授 秋山 道宏さん 	沖縄の地域の文化や歴史を知るために、実際に足を運んで学ぶフィールドワークを重視し、沖縄戦を継承していく活動をさせていただきます。
11 住み続けられるまちづくりを 	HELLO WORLD(株)代表取締役社長 野中 光さん 	沖縄の日本人と外国人をいろんな形で繋げる「マッチング」の試みや外国人の生活相談などを実施し、多文化共生・仲良く暮らせるまちづくりを目指して活動させていただきます。
16 平和と公正をすべての人に 	具志堅 政幹さん 	沖縄の問題や課題をどう考えるべきなのか、民主主義はなぜ大事なのか、人権はなぜ守るべきなのか、など当たり前だと思っている概念を新しい視点から考える活動をさせていただきます。
17 パートナーシップで目標を達成しよう 	若狭公民館 館長 宮城 潤さん 	沖縄の地域課題が多様化・複雑化する中で、新しい視点からの公民館の活動をさせていただきます。



本校の生徒は、特に、沖縄の農業や外国人が抱える課題を解決するために、20歳代で起業をして、ビジネスという方法を用いて活動をされておられる方々に、深い感銘を受けているようにした。結局、コロナのため沖縄への研修旅行が行けなくなってしまって残念でしたが、貴重なことを学ぶことができたと思います。

レイテ国立高校との交流

わが校と交流のあるフィリピン レイテ島のレイテ国立高校の生徒とのオンライン交流会「レイテ国立高校の生徒と交流しよう」を実施しました。8グループにレイテ国立高校の生徒1人ずつ入ってもらい、ZOOMのブレイクアウトルームを利用して各グループ毎に交流。また、岐阜聖徳学園大学教育学部の大学生4名にお手伝い頂き、2グループに1名の大学生が英語補助としてついてくれました。

レイテ国立高校の生徒たちと初めての交流。全員が自分の学校のことや家族、趣味、将来の夢などの自己紹介をしました。レイテ国立高校の生徒たちは14~15歳でしたが、みなフレンドリーで優しく接してくれました。こちらが言葉に詰まっても、笑顔で待ってくれたり、頷いたり、表情、アクションを使って、話を聞いてくれるので、安心して話すことができました。フィリピンの子たちはホスピタリティにあふれ、相手の話を聞くという態度をオンラインの小さな画面でも笑顔やアクションで見せてくれるので、話す側にとっても安心感を与えてくれます。英語が伝わらなくても、一生懸命伝えようとすれば伝わるし、簡単な単語だけでも理解しようと努力してくれるので、初めて海外の人と英語で交流した本校の生徒にとって、とても良い機会になりましたし、伝わるんだという自信にも繋がりました。



生徒の発表

報告会のステージ上で、本校の生徒に、レイテ国立高校とのオンライン交流についての感想を発表してもらいました。

- ・ 言葉が違って、感じていることや考えていることは同じだと感じました。**英語をもっと勉強して世界の人をもっと理解したいです。**国境を越えた交流をしたいです。
- ・ 通信回線が悪く、**言葉でのコミュニケーションが難しかったからこそ、身ぶり手ぶり、態度での表現が重要であると感じました。**
- ・ 文化や言葉が違って、**お互いが繋がろうとする意志があれば通じることができると感じました。**
- ・ 難しい言葉ではなく、簡単な言葉で十分伝わるし、相手もくみ取って理解してくれました。留学に興味はあっても**不安を感じていたが、今回の経験で自信ができました。**
- ・ 率直に楽しかったです。ネットで「**一つの言語だと廊下をずっと歩く人生。2つの言語だと、行く先々で扉が開いている人生**」という言葉がありました。まさにこの言葉の通りで、他の言語を学ぶことが重要であることが分かりました。またこのような交流をやりたいです。
- ・ とても貴重で良い経験になった。英語に自信がなかったので不安だったが、相手にちゃんと伝わったことが分かるととても嬉しかったです。苦手な英語だがもっと学びたいと思います。国際的なボランティアにも目を向けようと思いました。**自分から積極的にコミュニケーションをとる姿勢や、相手を尊重する気持ちを大切にしたいです。**
- ・ 自分が伝えたいことがちゃんと伝わるか不安でしたが、相手がリアクションしてくれて伝わった事が分かるととても嬉しく、楽しい時間になりました。英語力も大切ですが、**伝えたいという気持ちが大切だと気づきました。**大学は国際関係学部に行きたいと考えていますが、今回の経験からさらに学びたいと考えるようになりました。

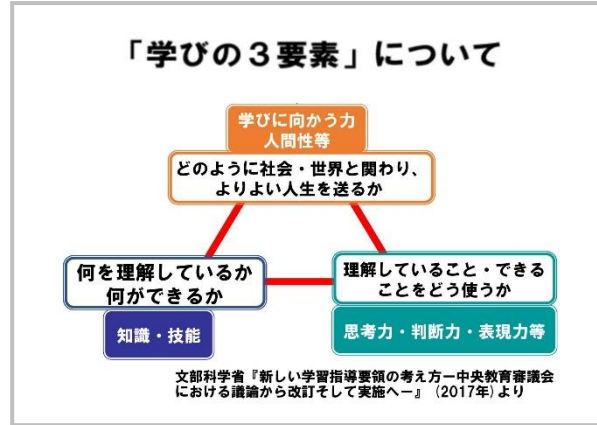


- ・ 難しい英語で話すより、簡単な英語で充分であると感じました。フィリピンの生徒が日本のアニメについて知っていてくれて、**自分も海外の文化について知りたいと思いました。**とても楽しい時間だったし、より相手のことを理解したいと思うようになりました。

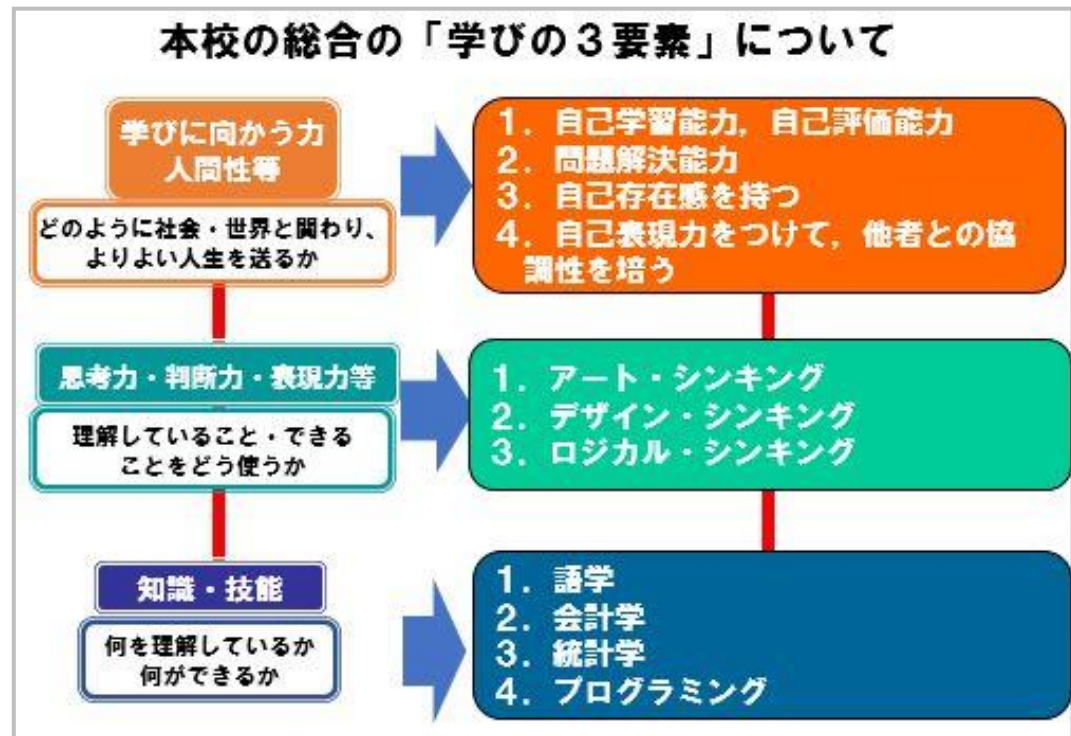
これからのGGH

今、「**VUCAの時代**」と言われて「**すぐ先の未来の予測ができない時代**」になっています。

文部科学省は「**新しい学習指導要領の考え方**」として「**学びの3要素**」を掲げています。「**学びに向かう力、人間性等**」とは「**どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか**」、「**思考力・判断力・表現力等**」とは「**理解していること・できることをどう使うか**」、「**知識・技能**」とは「**何を理解しているか、何ができるか**」という学習者に対する問いかけのことで



これをもとに、これからの本校の総合では、「**学びの3要素**」を次のように考えていきたいと思



「**学びに向かう力、人間性等**」は、本校が設定している「**四つの身につけたい力**」を身に付けていってほしいと思います。

「**思考力・判断力・表現力等**」は、「**アート思考：既成概念に捕らわれずに、考える力**」、「**デザイン思考：本当の問題を探り当て、解決に至る力**」、「**ロジカル・シンキング：事実に基づいて、他者に分かりやすく表現する力**」を身に付けていってほしいと思います。

そして、「**知識・技能**」は、次の四つの知識・技能を深めていってほしいと思います。

一つ目は「**語学**」です。語学の知識・技能を用いて「**他国の事例を参照しながら、自分の課題に取り組むこと**」ができるようになってほしいと思います。

本校の総合の「学びの3要素」について

知識・技能

何を理解しているか 何ができるか

1. 語学

他国の事例を参照しながら、自分の課題に取り組むこと



二つ目は「**会計学**」です。会計学の知識・技能を用いて「**ビジネスという方法を用いて、自分の課題に取り組むこと**」ができるようになってほしいと思います。

本校の総合の「学びの3要素」について

知識・技能

何を理解しているか 何ができるか

2. 会計学

ビジネスという方法を用いて、自分の課題に取り組むこと

OrgaNect オーガネクト代表
島袋 優さん

HELLO WORLD(株)代表取締役
野中 光さん




三つ目は「**統計学**」です。統計学の知識・技能を用いて「**自分の課題を論理的に記述・予測すること**」ができるようになってほしいと思います。

本校の総合の「**学びの3要素**」について

知識・技能
何を理解しているか
何が出来るか

3. 統計学

自分の課題を論理的に記述・予測すること

	南海トラフ巨大地震	
マグニチュード	9.1M	
主な被災地域	東海・近畿・中国四国・九州地方	
推定避難者数	最大 約950万人	
推定災害廃棄物量 (東日本大震災比較)	最大 約2.5億トン (約13倍)	
30年以内の発生確率	東南海地震70~80% 南海地震60%	

四つ目は「**プログラミング**」です。プログラミングの知識・技能を用いて「**自分の課題を論理的に手順を踏んで解決すること**」ができるようになってほしいと思います。

本校の総合の「**学びの3要素**」について

知識・技能
何を理解しているか
何が出来るか

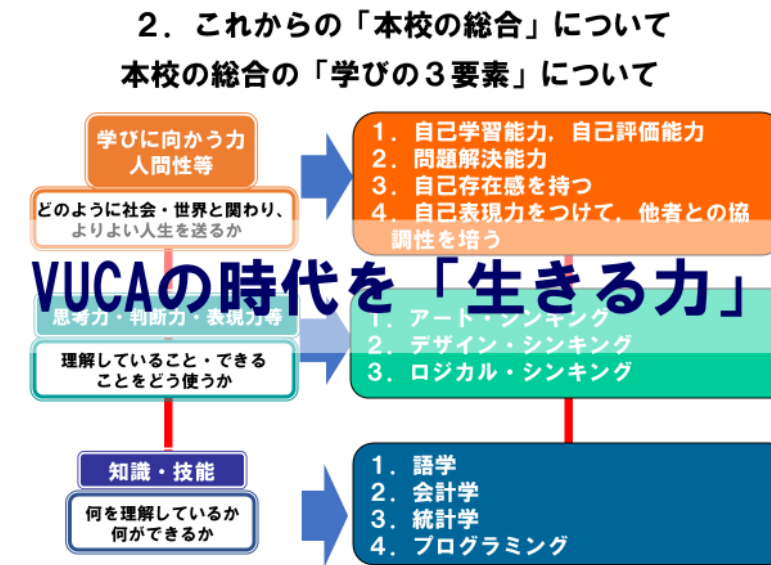
4. プログラミング

自分の課題を論理的に手順を踏んで解決すること



【災害本部】
AI Trackerを表示して、歩きチーム

以上の四つの知識・技能を用いて「**VUCAの時代を『生きる力』**」を身に付けていてほしいと思います。



おわりに

最後に、白井先生と遠藤さんに講評いただきました。

「この7年間の活動、レイテとの交流、地域との交流は大きな成果です。この2年間は行くことも来てもらうこともできずじれったい思いをしたと思います。コミュニケーションはたくさんの言葉を並べるだけでなく、簡単な短い言葉で充分で、相手に伝えたという気持ちをどうやって表現するかが重要です。今後社会に出たときに、ITや技術が発展しても、対面に勝るものはありません。対面でのコミュニケーションの技術も学んでほしい。今回はコロナで活動が制限されましたが、次期はもっと生徒の活動が見られると期待します。」

「普通の高校生ではなかなかできない経験であるし、社会人になるとこのような経験はもっとできません。まさに今しかできない経験。この経験は必ず将来役に立ちます。後悔することがないよう主体的に動いてほしい。英語は大切ですが、単なる一つのツールです。何を伝えたいか、が一番大切です。」